

仕事と論語と蕎麦打ちが大好きな月本康寅がお届けする

たんぽぽ通信

◆集客・営業・広告・販促・マーケに役立つビジネスコラム 2016年10月4週号

■集客・営業・広告・販促に役立つ心理マーケティング

反応の良いキャッチコピーを書くためのコツはお手本となるコピーをマネして、自社に応用することです。今回は雑誌、新聞、サイトや書籍タイトル等で見つけたお手本となるキャッチコピーを紹介させていただきますので、あなたの会社やお店でのコピー作りの参考として下さい。

■『今、英語をあきらめた人達に売れている○○』

世の中には何かを成し遂げた人よりも、成し遂げることが出来なかった人、途中で諦めた人の方が割合としては多く存在します。

そして、何かを成し遂げることが出来なかった人というのはその「何か」に強い興味と関心を持っている人である、ということも言えます。

例えばダイエットに成功した人よりも、出来なかった人の方が多く存在し、そしてダイエットに成功できなかった人たちは間違いなく「ダイエットに興味がある人たち」です。

だから、下記のように「○○に一度失敗した人」「○○をあきらめた人」に向けてコピーで訴求をしてビジネスを展開するという戦略があります。

「今、独立をあきらめた人たちに人気の副業セミナー」

「今、マイホームをあきらめた人たちに人気の物件案内」

「今、結婚をあきらめた人たちに評判の出会いネット」

「今、海外留学をあきらめた人たちに好評な異文化交流会」

このようなコピーなら今までにそれを成し遂げることが出来なかった人、途中で諦めた人の興味と関心をもう一度引くことができます。



●本記事は契約のうえ、ビジネス心理学講師・酒井とし夫さんが寄稿しています。



私の約束

リフォームの提案は、お任せください！
知識と智恵と豊富な経験で、必ずあなたの悩みを
ズバリ 解決します。

月本建設（株）代表取締役 月本康寅
電話/086-275-0676
FAX/086-275-5267
メール tsukimoto-cop@wind.ocn.ne.jp

ホームページ

月本建設

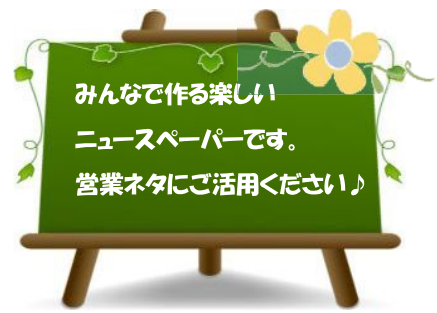
検索

4つの資格のプロ
だから安心です！

1級建築士
1級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士
宅地建物取引士

「頼んで良かった」(^o^) と言われる会社です！

コラムでコラボ



みんなで作る楽しい
ニューズペーパーです。
営業ネタにご活用ください♪

H.28 10月号(4)発行:一級建築士 月本康寅

自分でできるメディカルチェック

眠れるツボとは

なかなか眠れない、眠っても深夜に起きてしまう人は

眠れるツボを押す事がよいでしょう。

眠れるツボは、「百会」がおすすめです。

耳たぶの先端と、顔の中心線が交わる、ちょうど頭のてっぺんには、

「百会」という自律神経をコントロールするツボがあります。

ちょっと柔らかくなっている部分がこれです。

押し方は至って簡単。

両方の中指で、ゆっくり押してください。押しては離す、押しては離すのを繰り返しているうちに、

なんだか落ち着いてきて、眠くなってきます。

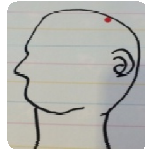
次におすすめが小衝です。

小指の爪の付け根の横つちよにある「小衝」。

これまたストレスを取り除き、深い眠りに誘ってくれるツボです。

寝る前だけでなく、日常的に押す癖をつけておくと、ストレスフリーな日々を送れます。

押すときは、反対の手の親指と人差し指ではさみこみ、グリグリ押ししましょう。



「運動」について

体を動かすのに心地よい季節になりました。

「スポーツの秋」と言われるように、体を動かすのが苦にはならない涼さも手伝って、何か始めようか！という方も多いはず。

そこで、今月は運動に対する正しい見方と適切な方法をお伝えしようと思います。

先回は運動する上で考えなければならない要素の1番目について解説しました。

今週は2番目です。

②「頻度」について

毎日するべきか、週に3日にすべきか…なにをもってそれを決めるのでしょうか？

それは「負荷がどの程度かかっているのか？」にかかっています。

筋トレやウォーキングをして、筋肉痛のような症状が残っている場合、無理をして連日行うなら、

筋肉の繊維が壊れ続けてしまいます。

結果、運動しているのに体が強くならない、ということになります。

筋肉痛が残らない程度の軽めの運動なら、毎日行っても構わない、いやむしろ毎日行った方が

良いと言えます。

それは身体には「可逆性の法則」というものがあるからです。

「可逆性の法則」とは、せっかく獲得した体力も運動や訓練をやめると失われる、という意味です。

リバンドなどもこの法則に基づいています。

「継続は力なり」ということです。

■ほぐゆる庵~relax&conditioning■

「移動巡回型施術院 ほぐゆる庵は出張専門の整体院です。痛みの原因から解決します！！」

一度ご相談ください。

TEL : 080-6337-3315

オフィス ニコスコ 高野よくくに



最近の犯罪状況(その157)

一般住宅で部屋の中に不審な男が忍び込んでいるのを帰宅した男性が見つけた。

男性が声をかけたところ男は外に逃げ止めてあった車に乗り込んで逃走したという。

この際に男性は男を追いかけたが車に衝突されて左手の小指の骨を折るなどの怪我をした。警察は男が盗みの目的で住宅に忍び込んだ疑いがあるとして強盗事件として捜査している。

防犯カメラ・セキュリティ
システム設計・施工・保守

TEL : 0120-46-9406

株式会社シールド

専務取締役 本多高明



現在を楽観的に見て、その長所を見出すことが大切である。

■近代社会は昔より明らかに進歩発展している■

「国家と社会はほとんど同じである」というのは、渋沢栄一の基本的な意見である。国家から政治的組織を除けば、それが社会となる。つまり社会とは政治を抜いた多くの人間が集まる場所をいうのであるという。

その社会に対する世の中の人の見方は二つある、と渋沢はいつている。極端に悲観的な見方と、楽観的な見方の二つである。そして、渋沢自身は断固楽観のほうであると。

なぜならば、自分は明治以前の社会も知っているから、現在の社会は大いに進歩向上しているように思えるのだというのである。

これは渋沢の実感であろう。明治の社会を悲観的に見る人は、「昔は上下貴賤の別が厳然としてあったが、今はそれがなくなって、上も下も同じように見えるようになってしまった」とか「昔の人は忠信孝悌以外の思想は何も抱かなかったが、今は危険な考えを抱く者が出てきた」とか「昔の学生は質僕剛健の気性に富んでいたが、今の学生は徒に入弱淫靡の風に傾いてきた」と、いろいろ文句をいう。確かにそういう一面がないわけではないが、社会の長所を見ると、明らかに近代社会は過去よりもよくなっているし、よくなりつつあると感じている、と渋沢はいつている。

次号へつづく

■「渋沢栄一 人生百訓 / 真の成功にいたる道」より抜粋